

奈良県理学療法士協会役員立候補者名簿(1)

| | | |
|---|---|--|
| <p>西田 宗幹（48歳）医療法人鴻池会 秋津鴻池病院 「立候補役職名」 理事 「士会役員歴」 平成19年～ 理事 5期 平成27年～ 副会長 社会局</p>  | <p>松村 明子(48歳) 医療法人康仁会 ロイヤルフェニックス 「立候補役職名」 理事 「士会役員歴」 平成15年～平成16年 厚生部長 平成17年～現在 理事 平成21年～現在 広報局長 平成21年6月 第19回奈良県理学療法士 学会学長 平成24年11月 第52回近畿理学療法学術 大会事務局長</p>  | <p>増田 崇（45歳）奈良県総合医療センター 「立候補役職名」 理事 「士会役員歴」 理事 平成15年度～ 14年間 事務局長 平成17年度～ 12年間 副会長 平成21年度～ 8年間</p>  |
| <p>[立候補の趣旨] 6期目の理事に立候補させていただきました西田宗幹です。10年間の本会活動と協会の代議員、各市町村での介護予防事業への関わり、患者会の活動、県の健康事業そして災害に向けたJRAT活動などに携わらせていただきました。さらなる高齢化社会の中で地域包括ケアシステムもさらに深化し、「活動と参加」の概念のもと、今まで以上に我々理学療法士への期待は大きく、それに応えていかなければなりません。そのためには一人一人が「活動と参加」を基本として効果を上げることや、会員間での横の連携を強化し、みんなで対応していく様になくてはなりません。著しく変化する社会の中で「活動と参加」という概念を熟知し、効果をあげ、本当の意味で社会に必要な理学療法士へと、皆様とともに成長できるよう、微力ではありますがお役にたてるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> | <p>[立候補の趣旨] 介護老人保健施設ロイヤルフェニックスの松村明子です。7期目の理事の立候補をさせていただきます。 平成30年は、医療・介護保険同時改定の年となります。また、奈良県理学療法士協会としては近畿学会を開催する年でもあります。この1年は、会として今まで以上に一致団結して活動を行う必要がある年になると思います。各院所の規模は大きくなっていく中、横の繋がりも強化していく会と一緒に作っていきましょう。 微力ではありますが、頑張りますのでよろしくお願いします。</p> | <p>[立候補の趣旨] 8期目の理事立候補となります。これまで、平成17年から事務局長・平成21年度から副会長として本会の組織運営などに携わらせていただいております。その間、公益法人への移行、ホームページのリニューアルを通してのIT化・事務職員の雇用などを進めさせていただきました。それぞれ軌道に乗りつつあると感じていますが、IT化に関しては今後もまだシステムの改善が必要です。引き続き会の運営に携わり、法人運営基盤の整備や公益事業計画などに関わらせていただきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。</p> |
| <p>徳久 謙太郎（43歳）西大和リハビリテーション病院 「立候補役職名」 理事 「士会役員歴」 平成23年4月～平成27年3月 生涯学習部 部長 平成27年4月～現在 理事</p>  | <p>和田 善行（36歳）平成記念病院 「立候補役職名」 理事 「士会役員歴」 平成25年～ 新人研修委員長</p>  | <p>中村 貴信（50歳）介護老人保健施設 ウエルケア悠 「立候補役職名」 理事 「士会役員歴」 介護保険部長(平成19年～平成22年) 理事(平成23年～) 第18回公開講座準備委員会準備委員長 (平成22年) 第24回奈良県理学療法士学会長 (平成26年)</p>  |
| <p>[立候補の趣旨] 私は、2014年に学術局理事を、2015年には奈良県における地域包括ケアシステムの構築を進めるべく、社会局理事および地域包括ケア推進委員会の委員長を務めました。臨床では西大和リハビリテーション病院の技師長を務めています。介護分野では2019年から本格実施される新しい介護予防。日常生活支援総合事業に関して、上牧町や広陵町、王寺町などの役所と連携し、短期集中介護予防事業に協力してきました。 奈良県においてもこれから地域包括ケアシステムへの理学療法士のニーズは高まりつつあります。これからは県士協会もより一層の行動力・団結力が必要となってきます。私もこれまでの経験を生かし、微力ではありますが、その一翼を担うことができると考え、再度、立候補させていただきました。主に地域包括ケアシステムにおける理学療法士の活動を支援する活動ができればと考えておりますので、よろしくお願ひします。</p> | <p>[立候補の趣旨] 立候補の趣旨 私は、奈良県理学療法士協会の新人研修委員長を4年にわたって務めさせていただき、委員をはじめ、コーディネーター、講師とともに新人教育の支援を行ってきました。現在では、年間を通じて6分野のコースを運営しています。社会が理学療法士や奈良県理学療法士協会に対する期待は大きくなってきました。その期待に答えるために理学療法士の質の向上と奈良県理学療法士協会の組織力と各ブロックの連携強化が必要となってきます。これまでの経験を生かし微力ではありますが、理事に立候補させていただきました。会員の皆様、県民の皆様に少しでも貢献できるように頑張りたいと思います。会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。</p> | <p>[立候補の趣旨] 私は、平成23年度より、理事として県士協会運営に携わらせて頂いております。地域包括ケアシステムに関わる担当理事として活動している中、地域社会で活躍する理学療法士のフィールドの広がりを実感しています。 地域包括ケアシステムにおける理学療法士の活動を深化させていくことは、我々の認知度の向上や地域での職域の拡大に繋がっていくものと考えております。 平成27年より、県や市町村、地域包括支援センター等(以下、行政等)との連絡対応を行なう窓口を担当させて頂き、行政等と本会及び会員が協働するための様々な相談や協力依頼をお受けしています。住民主体の介護予防活動や地域ケア会議等への参画は非常に需要が高くなっています。理学療法士が行政等や地域住民のニーズに応えられるように微力ながらお役に立ちたいと思っています。</p> |

奈良県理学療法士協会役員立候補者名簿(2)

| | | |
|---|--|---|
| <p>田平 一行 (49歳) 畿央大学</p>  <p>「立候補役職名」 理事 「士会役員歴」 理事(H21.5～現在に至る) 学術局長(H27.5～現在に至る) 専門領域委員会委員長 (H22.5～現在に至る) 第17回奈良県理学療法士学会準備委員会 準備委員長(H18.5～20.4) 第23回奈良県理学療法士学会準備委員 学会長(H24.5～26.4)</p> | <p>北村 哲郎 (47歳) 奈良県立医科大学附属病院</p>  <p>「立候補役職名」 理事 「士会役員歴」 理事(平成28年度、平成29年度)</p> | <p>石橋 瞳仁 (53歳) 高の原中央病院</p>  <p>「立候補役職名」 理事 「士会役員歴」 部長(平成5年度～6年度) 理事(平成7年度～26年度) 社会局長(平成13年～16年度) 副会長(平成17年度～26年度) 学術局長(平成17年度～26年度) 会長(平成27年度～28年度)</p> |
| <p>中俣 悅雄 (53歳) 済生会御所病院</p>  <p>「立候補役職名」 監事 「士会役員歴」 平成6年～7年(1期)理事 平成8年～19年(6期)保健福祉部長 第6回奈良県理学療法士学会学長 平成18年度地域リハビリテーション セミナー準備委員長 平成21年～現在(4期)監事</p> | <p>門脇 明仁 (61歳) 吉田病院</p>  <p>「立候補役職名」 監事 「士会役員歴」 昭和53年～平成4年 理事 平成4年～16年 会長 平成23～現在に至る 監事</p> | |

[立候補の趣旨]

現在日本理学療法士協会は、理学療法士の質の維持と向上のために生涯学習や分科学会など、専門理学療法士制度の改革を進めています。私は平成16年に本会に入会した後、17年から新人教育委員会、20年から専門領域委員会に関わり、21年から理事、27年から学術局長を務めています。また日本理学療法士協会では、平成22年より認定理学療法士の必須研修会の講師を、26年及び今年から日本呼吸理学療法学会運営幹事を務めています。

このように、私はこれまで専門・認定理学療法士制度に関する教育や学術面で会員の皆様に関わってきました。これらの経験を活かし、理事としても引き続き本会のお役に立てばと考えております。会員の皆様のご支援を、宜しくお願い申し上げます。

[立候補の趣旨]

この度、監事に立候補させていただく中俣です。4期8年間、監事として協会の運営に参加させていただきました。この間、公益社団法人化、協会ホームページ開設、事務員の雇用、など組織の体制強化が進められました。しかし1000人を超えた会員への対応、対外的な公益事業の展開など、課題もますます大きくなっています。

これからの2年間、微力ではありますが協会の運営と発展に協力できればと思います。よろしくお願ひ致します。

[立候補の趣旨]

私は、平成29年度で理学療法士経験年数が24年目となります。急性期病院とりハビリテーションセンターでの7年の臨床経験や、理学療法士養成校において12年間の教育経験、そして現在、奈良県立医科大学附属病院において管理運営の経験を積ませていただいています。これらの経験において、多くの理学療法士、また多くの医療・福祉に携わる人々と出会ってきました。私はその中で、理学療法士のできることは何か、しなければならないことは何か、してはいけないことは何なのかといった原理原則の大切さを感じてきました。それこそが社会からの信頼につながるものであると考えるからです。ただ、原理原則だけに固執しない「変化」も実は重要であります。社会からの期待に応え、なおかつ進化していく理学療法について、少しでも貢献したいと考えております。まだまだ若輩者ではございますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

[立候補の趣旨]

年々会員数も増加していく中、本会の事業も整理・拡大を随時行つている最中です。公益社団法人化後、益々公益事業を行っていく必要性が増し、それとともに、学術的な専門性も然ることながら医療、保健、福祉それぞれの分野での社会・職能的活動や政治的な活動も要求され、特に地域包括支援システムへの対応は最優先の課題となっています。

その他にも課題はたくさんありますが、我々理学療法士が、病院、施設、地域で、より活躍できるように、そして、理学療法士及び本会の発展のために、皆さんと共に頑張っていく所存ですので、ご支援ご協力を何卒よろしくお願ひいたします。

[立候補の趣旨]

本会は県民から医療のみならず、介護分野や保健分野など多方面から期待されています。そして本会はこれに対応する組織づくりで応えてきました。また一方1000人を超える会員の卒後教育と生涯学習も対応しなければなりません。このような多面的な活動を求められている本会に、私は監事としてサポートしたいと考えています。

私はこれまで40年間にわたり奈良県理学療法士協会とともに歩んできました。組織の役割、これから果たすべき組織の課題も知っているつもりです。前回に引き続き監事に立候補し、組織の活動を身近で見守り、通じては会員の皆様の卒後教育と生涯学習の手助けができると 생각ています。